ボーリング柱状図

調　査　名

事業･工事名

ボーリングNo.

シートNo.

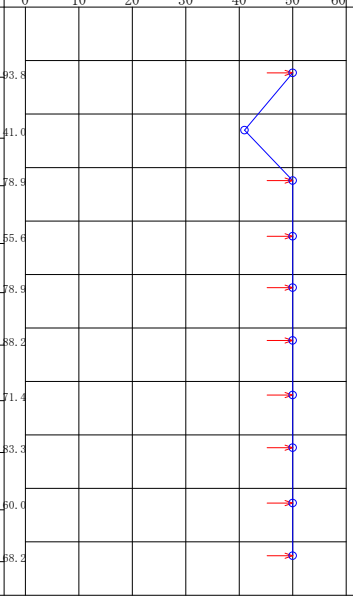
ボーリング名	No.1	調査位置	千葉県木更津市矢那			北　緯	
発 注 機 関				調査期間		東　経	
調査業者名	株式会社地盤試験所 電話（03-5600-2911）	主任技師		現　場 代理人		コ　ア 鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高		角度	180°上 90° 下 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試 錐 機		ハンマー落下用具	
総掘進長	10.37m								エンジン		ポ ン プ	

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1 2 3 4 5 6		6.80	6.80		埋土	暗黄灰～黒黄灰			GL-0.00～0.10m表土。 GL-0.10～1.60m礫混じり中砂 含水低、砂の粒径不均一、粒子粗い。粗・細砂・微細砂分少量混入。 φ2～40mm亜角、亜円形、軟質。 φ10～40mm主体の礫が極く少量点在。 GL-1.60～6.80m砂礫。 含水大、泥水希釈される。 φ2～30mm礫形、礫質様々、φ5～20mm主体。 マトリックス、上部は粗砂、下部に行くに従い中砂、細砂分若干混入。 GL-2.00m、下部に乳黄灰色の固結シルトを5mm巾で帯状に挟む。 GL-3.00m、下部に乳黄灰色の固結シルトをブロック状に極く少量挟む。 GL-4.00m以深、乳黄灰色の粘土をレンズ状に極く少量挟む。
7 8 9 10		3.57	10.37		微細砂	暗黄灰			含水少、砂の粒径均一、粒子非常に細かい。 密度極密。 GL-8.00m、乳黄灰色の固結シルトを3cm巾で帯状に挟む。 GL-9.00m、乳黄灰色の固結シルトを縞状に極く少量挟む。

孔内水位m／測定月日

標準貫入試験

深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値
1.15	31	19		50	93.8
1.31		6		16	
2.15	5	10	26	41	41.0
2.45				30	
3.15	28	22		50	78.9
3.34		9		19	
4.15	18	19	13	50	55.6
4.42			7	27	
5.15	21	29		50	78.9
5.34		9		19	
6.15	25	25		50	88.2
6.32		7		17	
7.15	24	24	2	50	71.4
7.36			1	21	
8.15	26	24		50	83.3
8.33		8		18	
9.15	11	28	11	50	60.0
9.40			5	25	
10.15	15	29	6	50	68.2
10.37			2	22	



原位置試験 深度 m	試験名および結果

試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日